

コンクールについて

趣 旨

音楽文化の向上、音楽的才能の発掘、優れた音楽の普及を目的に開催します。

出場資格

兵庫県内に在住か在学の小学生、中学生、高校生。最優秀賞受賞者は同一部門では出場できません。

実施部門

※2018年4月からの新学年です。
A部門=小学1・2年生
B部門=小学3・4年生
C部門=小学5・6年生
D部門=中学生
E部門=高校生

企画委員

植田 定和(元大阪音楽大学教授)
木下 千代(兵庫教育大学大学院教授)
志賀美津夫(大阪教育大学名誉教授)
中村 伸吾(武庫川女子大学教授)
2018年3月1日現在(50音順)

企画運営委員

片山 優陽(大阪芸術大学講師)
岸本 雅美(大阪音楽大学講師)
坂本 恵子(相愛大学講師)
佐野まり子(大阪教育大学講師)
釈迦郡洋介(神戸女学院大学講師)
2018年3月1日現在(50音順)

予選について

申し込み受付が完了された方への参加票の発送は6月下旬予定です。7月5日(木)を過ぎても参加票が届かない場合は事務局まで至急連絡ください。予選会場の開演時間、全出場者氏名、演奏順は7月中旬の神戸新聞に掲載予定です。

■参加料

A・B・C部門=10,000円 D・E部門=12,000円 ※消費税込

■審査員

主催者が委嘱する音楽家、教師。

■表彰

部門ごとに金賞、銀賞、銅賞を贈ります。

B～E部門の金賞受賞者は本選に出場します。※A部門の本選はありません。

■発表

入賞結果は会場内で掲示発表し、神戸新聞ホームページ、神戸新聞紙面に掲載します。

入賞者(B～E部門本選出場者を除く)の表彰状は後日郵送します。

■特典

出場者全員に参加賞をお渡しします。各審査委員から出場者個人にあてた予選の演奏に関するアドバイスコメントシートを全予選終了後、8月上旬に本人宛に郵送します。

本選について

■参加料

B・C部門=5,000円 D・E部門=6,000円 ※消費税込
本選出場者には別途本選の参加証を郵送、表彰状は本選当日に会場でお渡しします。

本選参加料(消費税込)は本選当日に会場受付でお支払いください。

■審査員

植田 定和(元大阪音楽大学教授)
木下 千代(兵庫教育大学大学院教授)
志賀美津夫(大阪教育大学名誉教授)
田中 敬子(兵庫大学教授)
中村 伸吾(武庫川女子大学教授)

2018年3月1日現在(50音順)

■表彰

部門ごとに最優秀賞1人、優秀賞1人、奨励賞1人を決定し、主催者より盾と賞状を贈ります。あわせて兵庫県知事賞、兵庫県教育長賞、兵庫県芸術文化協会賞、NHK神戸放送局長賞(E部門のみ)を贈ります。

■発表

入賞結果は表彰式で発表し、神戸新聞紙面、神戸新聞ホームページに掲載します。

■特典

本選参加者全員に記念品を贈呈します。最優秀賞受賞者は次年度の本選でゲスト演奏者として出演いただきます。

演奏に関する注意

- ◆A・B・C部門は①～⑤より選択、B部門は共通課題(必須)も演奏してください。
- ◆D・E部門はあらかじめ予選曲と本選曲を選択してください。
- ◆予選曲はD部門が①～⑤より選択、E部門は自由曲。本選はD・E部門どちらも対象曲から任意の1曲を選択してください。
- ◆予選の課題曲がふたつある場合、演奏順序は自由です。
- ◆本選では本選課題曲を先に、予選の曲を後に演奏してください。
※B部門は共通課題も演奏します。共通課題曲と予選曲の順序は自由とします。
- ◆全部門とも暗譜。繰り返しはなしです。「1」「2」のある楽譜に関しては「1」は演奏せず「2」へ進んでください。D.C.(ダ・カーポ)やD.S.(ダ・ル・セーニョ)は譜面通りに演奏してください。
- ◆運営の都合上、途中で演奏をやめていただく場合があります。

補助ペダル・足台について

- ・補助ペダルおよび足台はすべて使用されるご本人が、お持ち込みください。主催者では用意しておりません。
- ・補助ペダルの設置は基本的に指導者か保護者が行ってください。
- ・足台は、本人、指導者、保護者のいずれかが設置してください。
- ・なお、設置に関しては演奏前の休憩時間中に順番で位置確認できるよう配慮します。
- ・設置において、前後の出場者に時間的な迷惑がかからないようお願いいたします。
- ・使用・不使用は予選当日に変更できます。当日、受け付けでお申し出ください。

「バロック・古典賞」新設について

おかげさまで神戸新聞は今年で創刊120周年を迎えました。記念事業の一環として今年度より「兵庫県学生ピアノコンクール」本選において、賞を新設することになりました。近年、当コンクール出場者の中で近現代の曲を演奏する方が増える一方、バロック、古典の曲に挑戦する方が少なくなっています。バロック、古典の曲を演奏し、表彰まであと一歩という方も今までたくさんおられました。審査員からも基礎をしっかりと学び地道に取り組む姿勢を、もっと評価してあげたいという声があり、今回「バロック・古典賞」の新設にいたしました。

■対象となる課題曲

A部門は本選出場がないため、B～E部門のバロック、古典の課題曲。応募要項内の課題曲の通し番号の数字下に★印が入っている曲が対象になります。4ページ以降の「ピアノコンクール課題曲」を参照ください。

■表彰

最優秀、優秀、奨励での表彰を逃したバロック、古典の曲を演奏された本選出場者の中から選出。主催者より盾と賞状を贈ります。B～E各部門から必ず選出という賞ではありません。該当者がいない場合もあれば、一つの部門から複数名を表彰ということもありません。